

## 前回委員会 (2004. 2. 26) 以降の状況報告

1. 状況報告	1
2. 結果概要等	2
・ 第 28 回委員会(2004.2.26)結果報告	
・ しっかりしてや!! 流域委員会～新しい川づくりに向けた意見交換会～(2004.2.28)結果報告	
・ 第 33 回運営会議(2004.4.10)結果報告	

### 1. 状況報告

#### ①しっかりしてや!! 流域委員会～新しい川づくりに向けた意見交換会～

・ 2月28日に標記検討会が開催されています。結果報告については本資料4ページをご参照下さい。

#### ②淀川水系河川整備計画策定に向けての住民対話集会 (木津川上流河川事務所開催)

- ・ 標記会に当委員会の三田村委員が出席されました。
- ・ 当日会場から、委員会宛の質問が出されましたが、これについては本委員会で作成した冊子等を質問者にお戻しし、ご理解をいただくこととなりました。
- ・ なお、本件に関しては5ページの第33回運営会議結果報告をご参照ください。

#### ③庶務の交代

・ 4月1日から庶務が交代しています。新しい連絡先等は、以下のとおりです。

(株)富士総合研究所 都市・地域研究室

研究員：吉岡、堤、中島、鈴木、松本 事務担当：山根、景山

〒541-0042 大阪市中央区今橋4-2-1 大阪富士ビル8階

TEL 06-6222-5870 FAX 06-6222-5871

E-mail yodogawa@cyg.fuji-ric.co.jp

URL [www.yodoriver.org](http://www.yodoriver.org) (従来と変更なし)

#### ④第33回運営会議

・ 4月10日に標記会議が開催されています。結果報告については本資料5ページをご参照下さい。

#### ⑤ホームページのシステム更新

- ・ 個人情報保護の観点から、現在セキュリティレベルを高めるためのシステム更新を行っています。このため、現時点では、ホームページ上からの傍聴申し込み、意見の書き込みができなくなっています。これらについては、システム更新後速やかに再開する予定です。

## 2. 結果概要等

第 28 回委員会 (2004. 2. 26 開催) 結果報告	2004. 3. 1 庶務発信
<p>開催日時：2004年2月26日(木) 16:05～18:05 場 所：京都市勧業館 みやこめっせ B1F 第1展示場 参加者数：委員 32名、河川管理者 17名、一般傍聴者 225名</p>	
<p>1 決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・資料 2-2「河川管理者からの質問への回答(案) 040226 版」は、質問 8 に対する回答案の一部(P9、10)を修正して回答とする。</li><li>・次回の委員会は、基礎案が策定された時点で開催する。</li><li>・河川管理者が開催している対話討論会に関する意見交換の場(対話討論会のファシリテーターと流域委員会委員の参加を想定)を設ける方向で検討する。</li></ul> <p>2 審議の概要</p> <p>①第 27 回委員会以降の状況報告</p> <p>資料 1「前回委員会(12/9)以降の状況報告」を用いて報告が行われた。</p> <p>②河川管理者からの質問に対する回答について意見交換</p> <p>資料 2-1「河川管理者からの質問に対する回答作成の経緯」について確認後、資料 2-2「河川管理者からの質問(『淀川水系流域委員会意見書 平成 15 年 12 月』に対する疑問点・質問)への回答(案) 040226 版」を用いて、各回答担当者(委員)より説明が行われ、意見交換が行われた。回答内容については概ね河川管理者に理解頂き、「1 決定事項」で記したとおり決定された。各回答における主な意見は次の通り。</p> <p>&lt;質問 1 について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・回答内容は理解した。基礎原案に記した、モニタリングの実施、情報の一元化と公表などを実施するなかで考えていきたい。(河川管理者)</li></ul> <p>&lt;質問 2 について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・回答内容は理解したが、地域の指定もやりすぎるとゾーニングと同じになってしまうように感じるので、どういう形にするかは今後検討したい。(河川管理者)</li></ul> <p>&lt;質問 3、10、15、16 について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・回答内容は理解した。資料 2-3 に掲載されている委員意見も参考にしたい。(河川管理者)</li></ul> <p>&lt;質問 5 について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・陸閘の閉鎖時期に関しては、高潮が引いていくかどうかの予測は気圧や風など様々な要因が関係するため、難しい問題であるが、問題意識を持ってほしい、という意見、回答と理解した。(河川管理者)</li></ul> <p>&lt;質問 7 について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「今後、スポーツ施設は新たに河川敷に設置しない」とすることは、河川保全利用委員会(仮称)の審議の自由度を制限することにもなる。縮小を基本としながらも、地域ごとに事情は異なるため、現時点で「一律に認めない」とするのは言い過ぎではないか。(河川管理者)</li><li>→委員会の希望としては、個々の案件は河川保全利用委員会の審議にお任せするが、基本方針として、提言や意見書に記した趣旨で行ってほしい、ということ。「絶対にだめだ」とは言えないと思っている。(委員長)</li></ul> <p>&lt;質問 8 について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・琵琶湖の湖棚部における有機性堆積物増加の影響については、これまで認識が薄かった。</li></ul>	

基本データの収集等、調査・検討を開始したい。(河川管理者)

→有機性堆積物については、日本自然保護協会で1997年から2001年くらいにかけて利根川、長良川、吉野川等の河口堰周辺などで、堆積厚、粒度組成、有機物の含有率などを調査している。堆積厚を正確に計測する手法も開発されており、参考にされたい。

・下記修正意見に対応して回答案を修正する。(委員長)

・琵琶湖総合開発事業の終了年に関する表現に誤りがある(P9)。

・えり網がヘドロで倒れる、という表現を実態に合わせて修正した方がよい(P10)。

<質問11について>

・住民参加のあるべき大綱について、基礎原案の4章で記したつもりであったが、住民参加とは何か、なぜ必要か等についての記載はなかった。今後何らかの形で示す必要があると思う。(河川管理者)

<質問14について>

・人為的水文システムの意味は理解したが、それが面源汚濁負荷の流出抑制にどのように直接的につながるのかが理解できていない。(河川管理者)

→人為的水文システムを構築していくなかで、浸透や滞留機能が損なわれたり、生態系機能が低下することにより、自然浄化能力が減少することによって有機物が分解されずに河川や湖沼に流れ込むことになる、という点でつながりがある。

③今後の流域委員会について

資料3「今後の流域委員会について」を用いて、今後の日程等の説明が行われ、以下の点について確認された。

・基礎案は遅くとも4月中には策定してほしい。(委員長)

→現在、自治体、住民からの意見聴取を行っており、全てが揃ってからの策定になる。できる限り早期の完成を目指したい。(河川管理者)

・基礎原案で「調査・検討」とされている水位操作やダム等の結論が、現在の委員の任期中に提出されることを希望する。(委員長)

・流域委員会の提言を受けて河川管理者が開催されている対話討論会について、対話討論会のファシリテーターと流域委員会委員で改善点、反省点等について意見交換する場を設けたい。意見書を補充するという意味で、河川管理者の参考にもなるだろう。(委員長代理)

④河川管理者主催の対話討論会についての報告

資料4-2「住民対話集会(円卓会議)について」、資料4-3「対話討論会(円卓会議)について」を用いて、琵琶湖河川事務所、大戸川ダム工事事務所、猪名川総合開発工事事務所より対話討論会の開催状況、主な内容について報告が行われた。

⑤一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者1名から、木津川上流河川事務所主催の住民対話集会の開催予定が1回となっている点について意見があり、木津川上流河川事務所長より、「ファシリテーター等との各種調整に時間がかかり、他の河川事務所に比べスタートが遅れた。回数については対話討論会の様子からファシリテーターが判断されることになるが、1回限りで終わる予定ではない。」との返答があった。

以上

※ このお知らせは委員の皆様にご覧いただき、会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。詳細については「議事録」を参照下さい。

しっかりしてや!!流域委員会  
～新しい川づくりに向けた意見交換会～ 結果報告

2004. 3. 9 庶務発信

開催日時：2004年2月28日(土) 14:30～17:30  
場 所：カラスマプラザ21 8階 大・中ホール  
参加者数：委員29名、一般参加者224名

### 1 開催概要

#### ①開会の挨拶

淀川水系流域委員会の芦田委員長より、開会の挨拶が行われた。

#### ②趣旨説明

住民参加部会の三田村部会長より、資料1『しっかりしてや!! 流域委員会 ～新しい川づくりに向けた意見交換会～』進め方」をもとに、今回の意見交換会の開催趣旨について、説明が行われた。

#### ③流域委員会からの説明

意見書作業部会リーダーの今本委員より、資料2をもとに、これまでの流域委員会の歩み、提言、基礎原案、意見書の内容などについて説明が行われた。

#### ④グループ別意見交換

以下の4つのグループに分かれて、冒頭発言者の発言を皮切りに自由な意見交換が、約1時間30分行われた。最後に、各グループより、5分程度で意見交換内容の報告が行われた。

##### ○琵琶湖グループ

冒頭発言者 鳥塚 五十三氏 (南浜漁業協同組合 代表理事組合長)

##### ○淀川(環境・利用)グループ

冒頭発言者 志岐 常正氏 (京都府宇治市在住)

##### ○淀川(治水・利水)グループ

冒頭発言者 松原 美省氏 (三重県名賀郡青山町在住)

##### ○猪名川グループ

冒頭発言者 岡 秀郎氏 (大阪自然環境保全協会)

千代延 明憲氏 (大阪府吹田市在住)

酒井 精治氏 (大阪府箕面市在住)

中上 隆三氏 (大阪府箕面市在住)

#### ⑤閉会の挨拶

流域委員会委員長代理の寺田委員より、閉会の挨拶が行われた。

#### ⑥その他

グループ別意見交換開始前までに、一般参加者に、これまでの流域委員会の活動に対する通信簿を記入、提出頂いた。結果は以下のとおり(有効回答数:189件)。

A: 高く評価する(優) 16.4% B: 一定の評価ができる(良) 36.5%

C: 概ね適切である(可) 16.4% D: 課題、問題点が多い(不可) 23.3%

E: 抜本的見直しが必要である!(落第) 7.4% 以上

※このお知らせは委員の皆様にご覧の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。主な意見については「結果概要」をご参照ください。

第33回運営会議（2004.4.10開催）結果報告

2004.4.15 庶務発信

開催日時：	2004年4月10日（土）10:00～12:00
場 所：	ぱ・る・るプラザ京都 6階 会議室2
参加者数：	運営会議委員6名（委員長、利水部会長、治水部会長、淀川部会長、住民参加部会長、猪名川部会長）、河川管理者3名
検討内容、 決定事項	<p>1 第29回委員会の議事内容、開催要領</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第29回委員会は、5月8日（土）、京都市勧業館「みやこめっせ」にて、16:00～19:00に開催されることが確認された。主な検討事項等は以下の通り。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 前回委員会からの状況報告</li> <li>2) 河川管理者からの基礎案報告</li> <li>3) 同報告に基づく審議</li> <li>4) ファシリテーターと委員との検討会の議事について</li> <li>5) 河川管理者からの委員会の新たな役割についての要請</li> <li>6) 一般傍聴者からの意見収集</li> </ol> </li> <li>・5)は、大きく「計画（案）に対して意見を述べる」、「計画の内容の進捗点検」、「再評価、事後評価の審議」の3つが想定される。新たな役割については、河川管理者が資料を用意し、河川管理者から委員会に対して、運営会議にて了解された旨を報告する形で要請し、了承されたら、後日、文書により正式な手続きを進めるものとする。</li> </ul> <p>2 木津川上流河川事務所開催の住民対話集会質問への対応方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月20日対話集会にて出された質問について、基本的にはそれぞれ質問を受けた者が対応を決める。その際、委員会に対して出された質問については、「新たな河川整備をめざして－淀川水系流域委員会 提言－」、「提言別冊」、「淀川水系流域委員会意見書」、「意見書抜粋版」、「木津川に関わるニューズレター」を送付し、読んでいただき質問が残るようであれば委員会に問い合わせさせていただくこととした。なお、匿名の質問者に対しては、資料は送付しない。河川管理者に対する質問については、公開を考えているが、木津川上流河川事務所が対応を決めることになるので、別途庶務を通じて調整することとなった</li> </ul> <p>3 ファシリテーターと委員との検討会の位置づけと進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーターと委員との検討会は、5月15日（土）10:00～13:00に開催されることが確認された（場所は未定）。当日は河川管理者にも参加してもらい、一般傍聴も認めるものとする。ファシリテーターに対して、あらかじめ対話集会の良かった点や課題について整理した資料を作成、提出していただき、これをもとに意見交換を行う。</li> <li>・当日進行役は住民参加部会長とする。進行の詳細は、住民参加部会長と庶務にて調整することとなった。</li> </ul> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第30回委員会の開催日は、6月20日～30日のいずれか（3時間を予定）で調整することとなった。</li> <li>・第30回委員会に向けた第34回運営会議は、6月7日～委員会開催2週間前の間で調整することとなった。</li> </ul>

以上

※このお知らせは委員の皆様に必要な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただくものです。